

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
亀山市	亀山市	平成 27～令和元年度	平成 27～令和元年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	13,491t	12,638t	-61.9%
	1 人当たりの排出量	267kg/人	241kg/人	-61.9%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	18,325t	16,199t	51.7%
再生利用量	直接資源化量	1,909t	2,948t	-47.4%
	総資源化量	7,243t	7,545t	-143.7%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標
総人口	49,914人	52,460人	49,530人	—
公共下水道	污水衛生処理人口	16,581人	30,755人	74.66%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	33.22%	58.63%	46.36%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	6,587人	9,206人	72.04%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	13.20%	17.50%	13.39%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口			
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率			
未処理人口	污水衛生未処理人口	13,089 人	2,796 人	8,592人
				307.30%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

ごみ排出量の推移は表 1 のとおりです。

生活系ごみの総排出量は減少傾向でしたが、H30 年度に増加に転じ、特に R2 年度は急増しています。内訳を見ると、収集量は減少か横ばい傾向でしたが、直接搬入量の増加により総排出量は増加しています。

直接搬入量増加の原因は、当市は地域のごみ集積所は自治会管理としていますが、自治会未加入者が増え、ごみ集積所を利用せずにごみ処理施設へ直接搬入する方が増加したこと等によるものと推測されます。R2 年度の急増の原因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛が影響しているものと考えられます。

資源化量の推移は表 2 のとおりです。

直接資源化量の減少は紙類の減少によるところが大きく、ペーパーレス化や行政回収以外の店頭回収等が活発化したことが原因と考えられます。また、総資源化量の減少は、H31 年 4 月に亀山市刈り草コンポスト化センター（堆肥化施設）の運営を民間事業者に移譲し、これ以降は民間事業者が刈り草の全量を処理し堆肥化することから資源化量の集計から除外したこと、さらに、活動団体数の減少による集団回収量の減少等が原因と考えられます。

表 1 ごみ排出量の推移

			(単位：t)								
年度			H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
家庭系ごみ	収集	人口（人）	50,537	50,512	50,265	49,726	49,795	49,684	49,723	49,723	
		一般ごみ（t/年）	9,207	9,295	9,251	9,051	9,213	9,439	9,264	9,221	
		資源ごみ（t/年）	1,481	1,349	1,032	856	756	715	660	772	
		破砕粗大ごみ（t/年）	564	539	566	541	558	596	576	647	
		その他ごみ（t/年）	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計（t/年）	11,252	11,183	10,849	10,448	10,527	10,750	10,500	10,640		
	直接搬入	一般ごみ（t/年）	883	889	1,011	1,145	1,178	1,304	1,469	1,748	
		資源ごみ（t/年）	364	337	304	351	292	159	151	167	
		破砕粗大ごみ（t/年）	876	889	941	902	894	991	1,122	1,285	
		その他ごみ（t/年）	116	121	137	109	105	167	126	181	
		計（t/年）	2,239	2,236	2,393	2,507	2,469	2,621	2,868	3,381	
小計（t/年）		13,491	13,419	13,242	12,955	12,996	13,371	13,368	14,021		
事業系ごみ	一般ごみ（t/年）	4,746	4,677	4,416	4,706	4,907	4,230	3,285	3,141		
	資源ごみ（t/年）	41	40	16	14	12	14	14	16		
	破砕粗大ごみ（t/年）	47	43	29	27	30	32	28	52		
	その他ごみ（t/年）	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計（t/年）	4,834	4,760	4,461	4,747	4,949	4,276	3,327	3,209		
集団回収量（t/年）		677	612	604	570	497	474	428	321		
総排出量（t/年）		19,002	18,791	18,307	18,272	18,442	18,121	17,123	17,551		

表 2 資源化量の推移

		(単位：t)									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
紙類		1,506	1,347	1,036	864	740	627	732	737		
紙バック		8	9	10	8	8	8	7	9		
金属類		673	685	753	678	673	729	838	857		
ガラス類		212	206	194	176	166	164	163	164		
白色トレイ		7	5	4	4	4	3	3	3		
プラスチック類		0	4	2	0	4	4	6	5		
布類		2	0	0	1	2	4	4	0		
ペットボトル		94	78	85	71	75	88	85	87		
肥料		1,073	979	866	921	535	720	0	0		
溶融スラグ		2,402	2,439	2,555	2,521	2,549	2,119	2,261	2,099		
溶融飛灰の山元還元		473	793	581	696	720	624	616	674		
その他		116	121	80	109	105	84	126	181		
集団回収		677	612	604	570	497	474	428	321		
合計		7,243	7,278	6,770	6,619	6,078	5,648	5,269	5,137		

【生活排水処理】

高齢化や経済的な理由で公共下水道への接続ができないこと、合併処理浄化槽が設置されているため生活環境への不満がなく公共下水道への接続意識が高まらないこと、さらに、集落排水施設等区域内人口の減少等が要因と考えられます。

3 目標達成に向けた方策

【ごみ処理】

目標達成年度 令和12年度まで

直接搬入量の増加は、自治会未加入者の増加に加えてライフスタイルの変化等の要因も考えられることから、効率的で持続可能な収集体制のあり方を検討します。

本市溶融処理施設のごみピット内のごみ質分析では、以前から紙類及び厨芥類の割合が多くを占めており（R1実績：紙類36.1%、厨芥類29.1%）、食品ロス削減と紙類の分別がごみの減量化と資源化量拡大に繋がる調査結果となっていました。このことから、R2.10に雑がみの分別収集に試行的に着手し、R3.4から本格実施を開始しました。今後も雑がみの分別収集の周知啓発を積極的に進め、紙類の資源化量の拡大を図ります。

また、R2.11に食品廃棄物組成分析調査を実施して本市における食品ロスの実態把握に努めたところで、今後、地域特性に応じた食品ロス削減の取組を進めます。さらに、市民・事業者・行政の連携によるICTを活用した食品ロス削減のための仕組みづくりに取り組みます。

【生活排水処理】

目標達成年度 令和8年度まで

公共下水道の供用開始区域の未接続者に対し、訪問や文書・広報等で接続を促します。また、公共下水道及び集落排水施設等の区域外の世帯には、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進させ、汚水処理人口増加の向上を図ります。

（都道府県知事の所見）

【ごみ処理】

循環型社会形成推進地域計画の目標達成に向けて、ごみの発生抑制の啓発やごみの分別排出に向けて市民・事業者への分別方法等の周知などを確実に進めることが望まれます。

【生活排水処理】

今後も引き続き未処理人口の減少に取り組まれることを期待します。